

岡山県の男女別の転入超過数(転入者数-転出者数)の状況(日本人移動者の総数)



OKAYAMA TAYOU PROJECT

岡山たいようプロジェクト

座談会

- 藤原加奈
- 伊原木隆太
- 那須保友
- 及川美紀
- 桑原功

岡山県から女性、若者の流出が目立つ中、山陽新聞社は岡山大学と連携し、選ばれる地域を目指す「岡山たいようプロジェクト」を始動させ1年がたちました。2年目のスタートに当たり、この1年を振り返り、取り組むべき課題について、県知事の伊原木隆太さん、岡山経済同友会理事・ひとづくり委員長の藤原加奈さん(フジワラテクノアート副社長)、岡山大学学長の那須保友さん、株式会社ポーラの元社長で一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ理事の及川美紀さんに話を伺っていただきました。司会は山陽新聞社の桑原功社長。(文中敬称略)



(左から)桑原社長、及川理事、那須学長、伊原木知事、藤原副社長

止まらない転出超過

「転出が転入を上回る社会減が止まりません。知事はこの現状をどう捉えていますか。」
 伊原木 新型コロナウイルス以降、岡山県から毎年約4千人が転出しています。この数字は県民約100万人のうちの0.2%ですが、進学や就職の時期に当たる10代後半から20代前半にかけては転出のペースがほとんど、地域の持続可能性に大きな影響を及ぼすなど、深刻に受け止めています。本年度、総合政策局に次長級の「女性・若者選定策対策室」を設け、関係部局を横断する「対策推進チーム」を本格稼働させました。社会減を食い止めるため、できることは何でもする決意です。
 藤原さんは経営者であり、たいようプロジェクトのパイオニア企業プロジェクトで見えてきたこと、社内外の変化をどう感じていますか。
 藤原 プロジェクトのシンポジウムや特集紙面「サニースポット」でのパイオニア企業の社説紹介を通じ、岡山は都会に比べてワークライフバランスが実現しやすい、ちょうどいい暮らしができるなど、岡山の良さを再認識できました。一方、多様性の受容度が低いことなど、時代化されたこと、年間の活動の価値があったと感じます。企業経営の在り方と人口減少問題は相関があります。この1年で見いだした課題を企業経営に反映させ、地域人材の価値を最大限に引き出すことで地域の活性化につなげていくことが重要であると考えています。
 岡山大学でもさまざまな取り組みをされてきたと聞かれています。
 藤原 女性の研究者や教授を増やす取り組みを進めています。実現するためには、多様なロールモデルの提示と具体的なリソースやスキルに特化した支援が必要です。シンポジウムなどで共有された、私自身を含めた「昭和の価値観からの脱却」が、多様な人材が活躍できる組織や地域づくりにつながると思います。
 伊原木 毎年3月に公表される都道府県版ジェンダーギャップ指数で岡山県の現状をみると、2026年版では政治・行政・教育・経済の4分野のうち、3分野で前年より指数が改善し、特に行政分野では県の男性職員の育休取得率が大きく上昇しました。
 伊原木 指数を上げていくことが大事だと意識しています。行政分野は自分たちで上げていくことができず、県の男性職員の2週間以上の育休取得率は23年度の54.1%から24年度は75.6%へアップしました。育休取得で人事評価が下がることがあってはならず、取得率の上昇は、気兼ねなく取得できている結果だと思っています。また、知事と2名の副知事のトップスリーが男性だけでないことを、昨年7月には女性副知事を迎えました。
 及川さんはプロジェクトのシンポジウムで講師を務めていただきました。女性や若者が地方から都市部へ流出している現状や理由についてどう考えますか。

若者と女性に選ばれる岡山へ

いま何を変えるべきか

女性、若者回帰をどう進めるか

学びと交流の場をつくる



伊原木隆太さん 岡山県知事
 いはらぎ・りゅうた
 岡山県知事、東京大学工学部を卒業、米スタンフォード大学経営大学院でMBA取得、天満屋(岡山市)社長を経て、2012年の岡山県知事選で初当選、現在4期目。



藤原加奈さん フジワラテクノアート代表取締役社長
 ふじわら・かな
 藤原加奈さん、フジワラテクノアート(岡山市)に2005年に入社、07年、MBA取得、15年に取締役副社長、21年に代表取締役社長に就任、岡山経済同友会理事、岡山県中小企業団体中央会副会長、県ものづくり女性中央会副会長。



及川美紀さん 一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ理事
 おいかわ・みき
 1991年、株式会社ポーラ化粧品本舗(現・株式会社ポーラ)入社、2012年に執行役員、14年に取締役、20~24年、代表取締役社長、21年から一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ理事、マツダなど複数の企業で社外取締役も務める。



那須保友さん 岡山大学学長
 なす・やすとも
 岡山大学病院新医療研究開発センター教授、副院長、大学院医学部総合研究科教授、同研究科長などを歴任、2015年に副理事長、19年に理事(研究担当)、副学長、23年4月から学長。

都道府県別ジェンダー・ギャップ指数 岡山県の順位・指数の推移

※指数は「1」に近づくほど男女平等

分野	2023年	2026年
政治	14位 (0.228)	10位 (0.229)
行政	13位 (0.321)	7位 (0.371)
教育	20位 (0.631)	16位 (0.660)
経済	13位 (0.431)	15位 (0.430)

「若者と女性に選ばれる岡山へ」わたしたちは 岡山たいようプロジェクトを応援しています。

※順不同